

内蔵DAT72 ユニット (PG-DT5044, PGBDT5044)

(1) 概要

DAT(Digital Audio Tape)の技術をベースに、情報機器のバックアップ装置として決められた第5世代のDDS(Digital Data Storage)テクノロジーに対応した内蔵型 DAT ユニットです。

(2) 特長

- ・ DAT72 データカートリッジをご使用の場合は、データテープ 1 巻当たり非圧縮データ 36GB(圧縮率 2 倍のデータのときは約 72GB)のバックアップが可能です。
- ・ DAT72 データカートリッジをご使用の場合は、最大 3.0 MB/s(非圧縮時)のデータ転送が可能です。
- ・ DDS-3、DDS-4、DAT72 の各フォーマットのデータカートリッジへの読み書きが可能です。
- ・ 接続インターフェースが USB である為、SCSI カードの増設が不要です。

(3) 仕様

| 項目 | 仕様 | 備考 |
|----------------|--|--|
| 製品名称 | 内蔵 DAT72 ユニット | |
| 型名 | PG-DT5044, PGBDT5044 | |
| インターフェース | USB 2.0 | |
| データ記録方式 | 回転ヘッド、ヘリカルスキャン記録方式 | |
| データ記憶容量(*1) | 非圧縮時36GB /巻 圧縮時約72GB /巻(圧縮率2倍のとき) (DAT72 データカートリッジ使用時) | |
| データ転送速度(*2) | 最大3.0MB/s(非圧縮時) (DAT72データカートリッジ使用時) | |
| データ記録形式 | DDS-3 (Read/Write) DDS-4 (Read/Write) DAT72 (Read/Write) (DDS-1, DDS-2カートリッジはご使用できません) | |
| エラーレート | 訂正不能エラーは1×10 の17 乗bit のリードに1回以下 | |
| 外形寸法[mm] | 幅 102×高さ 41×奥行 166 [mm] (3.5 インチ内蔵オプションベイを使用) | ベゼル、コネクタ部を含む(突起は除く) |
| 質量 | 0.7 Kg | |
| 消費電力 | 最大 16 W | |
| 発熱量 | 最大 57.6 kJ/h | |
| 添付品 | ・クリーニングカセット DAT-N ・ネジ (4 個) (*3) ・保証書 (*4) ・USB ケーブル (*3) ・取扱説明書および梱包物一覧 ・小冊子(テープ装置、媒体の定期交換とクリーニングで安心バックアップ!) ・DAT ユニット取扱い注意シート | ・特に個数の記載のないものは数量1 ・データカートリッジは別手配。 |
| 適用機種 | 便覧またはシステム構成図参照 | |
| 適用 OS / ソフトウェア | バックアップ(装置・OS・ソフトウェア)適用一覧を参照 | |
| 推奨クリーニング周期 | 1 週間毎(1 週間に 25 時間以上バックアップする場合は 25 時間使用毎) | |
| クリーニングカートリッジ寿命 | 50 回 | |

(*1) テープ装置における容量表現は、1GB = 1000×1000×1000 byte で換算しています。

(*2) 転送速度は、1MB/秒= 1000 × 1000 Byte/秒で換算しています。

(*3) カスタムメイドサービスの場合、サーバ本体に組み込まれています。

(*4) 一般オプションのみ添付されています。

(4) 留意事項

以下に本装置の運用、取扱いに関する留意事項を記載します。

詳細は本装置の取扱説明書およびバックアップソフトウェア等、関連製品の説明書を参照してください。また、別章(システム構築上の留意事項)の「バックアップガイド」の注意事項も参照してください。

➤ デバイスドライバのインストールについて

・Windows で本装置をご使用になる場合
デバイスドライバのインストールが必要です。

・Linux で本装置をご使用になる場合
LINUX ベースのオペレーションシステムをご使用の場合は、ドライバインストールは必要ありません。

➤ バックアップ性能とバックアップ容量

以下の要因により、バックアップ性能および 1 巻あたりに記録できるバックアップ容量が減少することがあるため注意してください。

- ・サーバの負荷状況(データ転送速度が十分に得られない場合)
- ・データの圧縮率
- ・ご使用されるデータカセットの記録面の状態(消耗、汚れなど)
- ・本製品のヘッドの汚れ状態

➤ USB デバイスの扱い

Windows などでは USB デバイスは取り外し可能な装置として扱われますが、本装置を運用中に「ハードウェアの安全な取り外し」の操作を行うと、再度認識させるためにはサーバのリブートが必要になります。

OS 動作中は本装置の取り外し操作を行わないでください。

➤ Windows Server 2003 で惨事復旧をご使用になる場合の注意

Windows 2003(x64 Edition 及び R2 を除く)で、NTBackup の ASR(Automated System Recovery)や ARCserve Backup の Disaster Recovery Option を使用してシステム復旧を行う場合は、システムが予め Service Pack 1 が適用された Windows Server 2003 の OS の CD を用いてインストールされており、復旧時にも当該の CD を使用する必要があります。

Windows Server 2003 の CD と Service Pack 1 を個別に使用しても、復旧することはできません。

➤ Windows Server 2008 及び Windows Server 2008 R2 使用時の注意

Windows Server 2008 及び Windows Server 2008 R2 で本装置をご使用になる場合は、別途専用のバックアップソフトウェアが必要になります。

尚、本装置をサポートするバックアップソフトウェアについては、別章(システム構築上の留意事項)の「バックアップガイド」を参照してください。

➤ 運用構築時の注意

・設置環境について

本製品にセットされた磁気テープ媒体は、データ記録面が装置内部で露出するため、設置環境(特に塵埃)の影響を受けやすい傾向があります。

一般的に、床面に近いほど塵埃濃度は高くなるので、机上など床面より離れた場所への設置をお願い致します。

・定期的なクリーニングについて

本装置は、使用・未使用に関わらず、浮遊塵埃などの影響により磁気ヘッドが汚れるため、定期的なクリーニングが必要です。

－ 定期的を使用する場合

1 週間毎(1 週間に 25 時間以上バックアップする場合は、25 時間使用毎)

－ 定期的を使用しない場合

1 ヶ月毎または 25 時間使用毎

定期的なクリーニングを忘れない為、一般的には「毎週月曜の朝」などクリーニングを実施する曜日を決めて運用するなどをお勧めします。

(5) サプライ品

本製品には、次の富士通純正品を使用されることをお勧めします。

| 品名 | 商品番号 | 出荷 単位 | 仕様 | |
|---------------------|---------|----------|-------------|----------|
| | | | 記録容量(*) | 記録フォーマット |
| データカセット DAT CT36G | 0121210 | 1 巻 | 36.0GB | DAT72 |
| データカセット DAT CT20G | 0121190 | 1 巻 | 20.0GB | DDS-4 |
| データカセット DAT CT12000 | 0121180 | 1 巻 | 12.0GB | DDS-3 |
| クリーニングカセット DAT-N | 0121170 | 1 巻 | 最大 50 回使用可能 | |

(*) 注:記録容量はデータ圧縮機能を使わない場合の値。

問い合わせ窓口:

富士通コワーコ株式会社 <http://jp.fujitsu.com/group/coworco/>

富士通コワーコお客様総合センター 0120-505-279

月～金 9:00～17:30(祝日・年末年始除く)

(6) 接続条件

➤ サーバ内蔵ベイ接続

サーバの内部の USB ポートとの一対一接続のサポート。

サーバ1台に対して、本装置は1台のみ接続可です。(複数台の接続は未サポート)

| サーバ | 接続ケーブル |
|--------------------------|---------------------------|
| RX300 S5 (2.5 インチモデル) | PG-DT5044 / PGBDT5044 に添付 |

➤ PRIMERGY SX10 S2(バックアップキャビネット)接続

本装置はサーバ内蔵専用型名の為、SX10 S2 には搭載できません。